**「詳細資料」作成要領**

作成に当たっては、第三者にとって理解しやすいものとなるようにすることが肝要である。

ページ数に制限はないが、ページを増やす場合であっても、簡潔にわかりやすく書くように努めることとし、また、各ページの右上に、「実証事業代表者氏名」を記載すること。

**１．実証体制・組織の記載例**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **要素名又は**  **分担業務の名称** | **氏 名** | **所属機関名・部局・役職名** | **経費** | **ｴﾌｫｰﾄ** |
| (1)  (2)  (3) | □□における□□に関する技術開発  □□に関する□□解析  ○○に関する技術開発 | 海洋　広志  地球　守  林　みどり  岳　巌雄 | ○○株式会社(2000000003)  △△研究センター主任研究員  独立行政法人○○研究所(2000000002)○○領域○○研究室室長  □□大学(2000000001)  □□学部教授  □□学部准教授 | (千円)  15,000  15,000  10,000  10,000 | (%)  30  20  40  50 |

**２．経費の明細＜委託事業＞（様式P14～P23）**

(1) 経費の費目については、①人件費、②業務費（諸謝金、会議費、旅費、消耗品費、借料及び損料、雑役務費、外注費、賃金、通信運搬費、光熱水費、印刷製本費等）③共同実施費、一般管理費に分けて、実証体制・組織に記載する要素名又は分担業務ごとに分けて記載すること。

　　　（例）

①人件費

＜人件費＞

|  |  |
| --- | --- |
| ○○設計担当（１人、１０ヶ月） | 3,300 |

　　　②業務費

＜旅費＞

|  |  |
| --- | --- |
| 実証打合せ旅費（つくば－京都；１泊２日　３回） | 126 |
| 実証打合せ旅費（熊本－京都；１泊２日　３回） | 100 |

　＜消耗品費＞

|  |  |
| --- | --- |
| ○○センサー | 45 |
| ○○分析用試薬 | 120 |

　　　＜外注費＞

|  |  |
| --- | --- |
| ○○設計業務 | 2,500 |

　＜印刷製本費＞

|  |  |
| --- | --- |
| 報告書製本費 | 50 |

　＜借料及び損料＞

|  |  |
| --- | --- |
| ○○装置リース（１０ヶ月分） | 8,500 |
| ○○システムリース（１０ヶ月分） | 1,500 |

(2) 各項目とも事業の詳細がわかる主要な事項を記載すること。ただし、計と合計の部分は漏れなく記載すること。

(3) その他留意事項

　　①提案した実証内容に対して経費が明らかに過大である場合は、審査の過程で評価委員に不適切な実証計画と判断される場合があるので、実勢に従って現実的な経費を計上すること。

　　②備品の購入経費の計上は原則認めていない。（詳細 公募要領「5．応募に当たっての留意事項」）

　　③消耗品の上限は、20万円未満とする。それ以上の物品は、消耗品となる理由を明記し環境省の承認を得ること。

**３．論文・特許等の知的財産権・その他実績の記載例（様式P24）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜論文・特許等の知的財産権・その他実績＞** | | |
| 事業実施者 | 論文タイトル・著者名等 |  |
| 温暖　防司 | (1)Yamada I and Ondan B. A Global study on ……biosphere. *Global Science,2010;25:451-462.*  　　技術開発の関連性：  (2)温暖防司. ○○地域の○○に関する…に関する研究. 地球環境学会誌 *2009;1:5-20.*  　　技術開発の関連性：  (3)○○の○○の測定方法 日本、出願番号平18-11111○（18.6.19）  　　技術開発の関連性： |  |